

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所 3号機の出力低下について

平成 17 年 12 月 22 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所 3号機（沸騰水型、定格出力 110万キロワット）は、定格熱出力一定運転中のところ、平成 17 年 12 月 22 日午前 8 時 57 分頃、原子炉冷却材再循環ポンプ*（B）のトリップにより、発電機出力が約 40 万キロワットまで低下いたしました。現在、プラントは安定して運転中です。

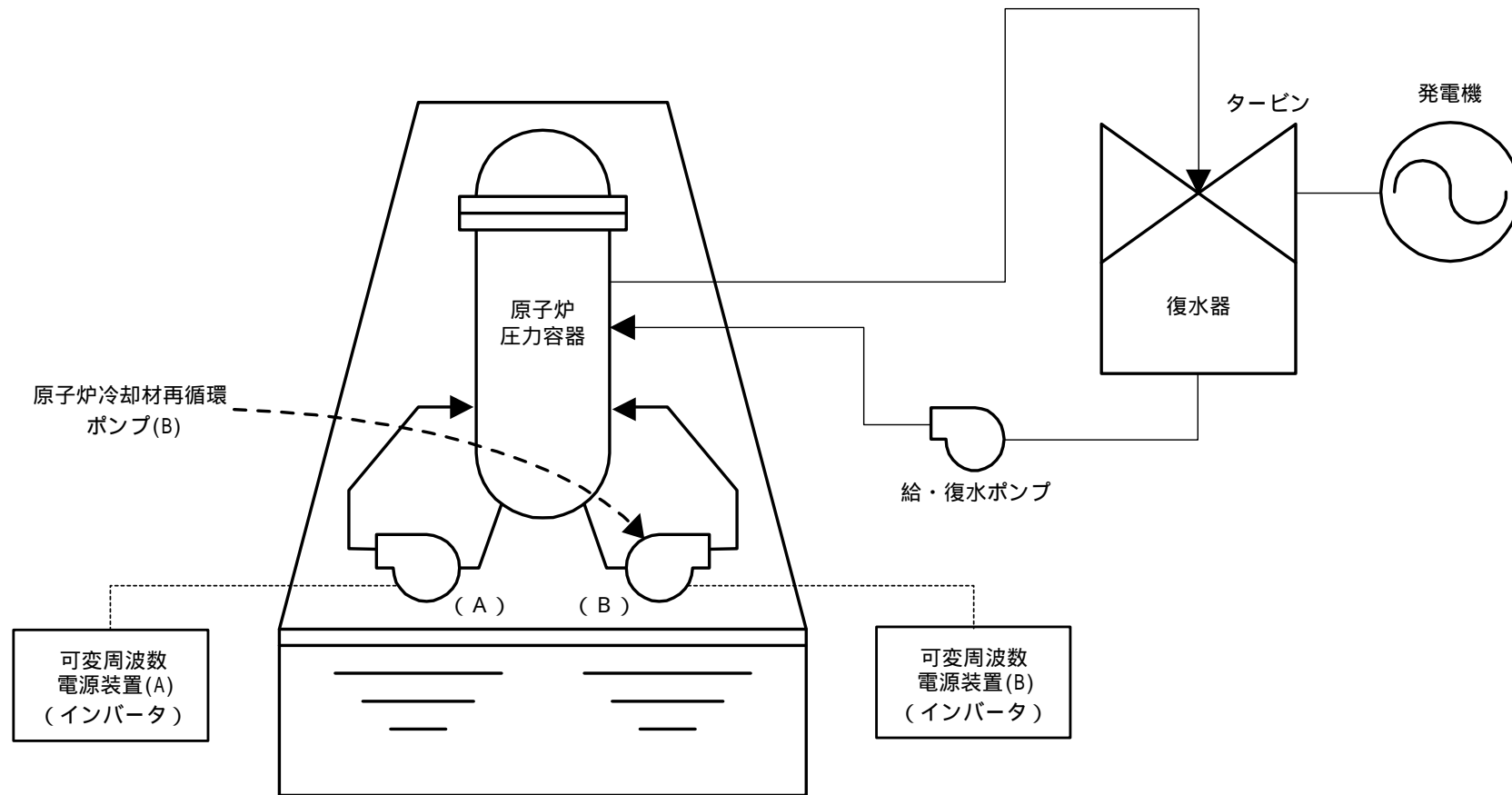
原因は悪天候による送電線への影響によるものと推定しております。今後、点検を実施し、設備の健全性を確認次第、出力を復帰させる予定です。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 原子炉冷却材再循環ポンプ

原子炉圧力容器の中の水（冷却材）を循環させるポンプで、運転中はポンプの回転数（スピード）を可変周波数電源装置で制御することにより、原子炉の出力をコントロールしている。このポンプは 2 台設置されている。



系 統 概 略 図